

「地域おこし協力隊インターン」制度を活用

■総務課地域魅力化特命室 ☎(64)9310

町では、地域おこし協力隊のお試し制度であるインターンの受け入れをしています。協力隊本体とは異なり移住要件はなく、町での活動や生活を通して、まずは町を知ってもらうことを目的とした取り組みです。

8月には日本大学国際関係学部の学生2人が来町し、2週間滞在しました。町が整備したシェアハウスに居住し、地域住民との交流をメインに活動を行いました。



▲地域のお祭りに参加し運営を手伝いながら、地域住民と交流

インターン生の声

皆様の温かさに支えられ、町の魅力を実感する毎日でした。お祭りは忘れられない思い出です。(石原さん・写真左)

甘楽町がいかに魅力的で、住民の方の町への思いを知ることができました。(梅原さん・写真右)



▲滞在中はシェアハウスで一緒に生活

今後も定期的にインターン生を採用し、地域力を維持・強化する担い手となる地域おこし協力隊員の拡大を目指します。制度の詳細については、町ホームページをご覧ください。



公共下水道・農業集落排水区域の皆さんへ

■水道課施設係 ☎(64)8317

公共下水道へ接続しましょう

町では、し尿や生活雑排水などの汚水を処理し、快適で衛生的な生活環境の確保と公共水域の水質保全を目的として、公共下水道事業を実施しています。

下水道に汚水を流すことで、住宅のまわりで発生する臭いなどを防ぎ、川や海などをきれいに保つことができます。

町内全体の生活環境の向上のため、公共下水道や農業集落排水が整備され使用できる区域内にお住まいで、まだ接続していない人は早期に接続しましょう。

今年度末までは「宅内排水設備工事補助金制度」がご利用いただけます。この機会にぜひご検討ください。

下水道は快適な生活を支えているよ！



下水道マスコットキャラクター「スイスイ」

まもなく終了！
令和6年1月31日までに申請を

宅内排水設備工事費補助金

対象 町内在住で、建物の所有者や所有者の同意を得た使用者

費用 くみ取り槽や浄化槽(単独・合併)から下水道に接続するための宅内排水設備工事に要する費用

補助額 上限3万円

※申請時に中学生以下の同居家族がいる場合は、上限5万円

町指定工事店へご相談ください

町指定工事店は、基準に合った設備をつくるために必要な技術を習得しており、工事に必要な手続きを申請者に代わって行えるよう町が指導・監督しています。

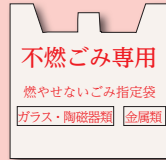
工事を行う際は、お気軽に町指定工事店にご相談ください。

環境保健協会からのお知らせ

■ 問い合わせ 住民課環境係 ☎64-8315

燃やせないごみ

町指定 半透明の袋



- ▶ ガラス類、陶磁器類と金属類(小型家電製品を含む)が一緒の袋に混ざっていませんか？
- ▶ リサイクルできる缶類やびん類を燃やせないごみで捨てていませんか？

埋め立て処理となるごみ 「ガラス・陶磁器類」

ガラス類

- 窓ガラス、鏡などの板ガラス類
- ガラス細工、ガラス製食器類
- 割れたビン類 など



陶磁器類

- 茶わんや湯飲みなどの食器類
- 植木鉢や花びん など



割れ物、刃物など危険な物は、紙で包み「キケン」と表示してください。



袋いっぱいに入れられないでね



ごみ指定袋に表示されている
ガラス・陶磁器類 に○をつけて出してください

リサイクルされるごみ 「金属類(小型電化製品を含む)」

金属類

- 鍋、やかん、調理器具
- のこぎりなどの工具、草刈り機の刃
- 一斗缶、オイル缶などの空き缶
- 針金製のハンガー など



小型家電製品

- ドライヤー、アイロン、ポット、トースター、炊飯器、扇風機、ゲーム機、ハンディ掃除機 など



電池類・充電式バッテリー・リチウム電池は必ず取り外してください。破損・変形により**発熱・発火する危険**があります。

ごみ指定袋に表示されている
金属類 に○をつけて出してください

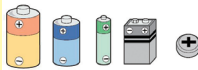
乾電池類

町指定袋なし

- ▶ 乾電池類・リチウム電池・電子たばこは、それぞれレジ袋などに入れて、「電池」・「リチウム電池」・「電子たばこ」と書いてください。



乾電池類



- マンガン乾電池
- アルカリ乾電池
- ボタン電池 など

リチウム電池



電子・加熱式たばこ 本体



収集日は3月・7月・11月

福島・新屋	上記の月の第1水曜日
小幡・秋畑	上記の月の第2水曜日

各種回収事業

◆古着リサイクル回収(無料回収)

日時 10月29日(日) 午前9時~11時



◆小型家電・硬質プラスチック回収(無料回収)

日時 11月26日(日) 午前9時~11時



◆古タイヤ・廃バッテリー・自転車等回収【有料回収】

日時 12月10日(日) 午前9時~11時



【会場】

甘楽町文化会館
駐車場

青少推



あいさつは
あいさつで
みんなの元気
一日過ごす
あ言葉
とりもどそう

(甘楽中1年 金井 祐)
(新屋小4年 茂木香首)

甘楽町青少年育成推進員連絡協議会が令和4年度に募集した「少年の目」標語の最優秀賞作品です。(学年は4年度・敬称略)

毎月
第1土曜日
少年の日

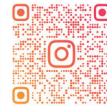


“日常”の感動を伝えたい

かんらの ベース
甘楽野 BASE

齊藤 公太郎さん

齊藤さんの活躍はこちら
のインスタから→



4年前の豪雨で被害に遭い、再建できないと諦めていましたが、この場所のすばらしさを生かしたいと思い続けていたところ町の皆さんに声をかけてもらい勇気が出たと話す齊藤さん。「自分が好きなこの場所を感じた感動を伝えたい。町の人の日常が都会の人に比べての非日常になる。緑の多さ、空気のおいしさ、人々の温かみなど心地良い暮らしを分かち合いたい」と開業を

県道富岡神流線を秋畑地区に向かい車を走らせると、左側に流れる雄川にかかる台持橋のもとにテントや人影が見えます。そこは今年1月に本格オープンしたアウトドアサウナをメインとしキャンプやたき火ができるアウトドア施設「甘楽野BASE」。施設を運営するのは、齊藤公太郎さん。大人がくつろげるプライベート空間をつくり、コミュニケーションが取りやすいようにと一日3組限定でお客様を受け入れています。

「自然を楽しむことで失くしてはならないものに気付きます。アーティスト活動は生き様そのもの。自然の恵みを享受しながら生活を送るスタイルの中で、インスピレーションを感じたら作品を生み出し、その一つとしてアウトドアも楽しんでいます。五感を研ぎ澄まさせてくれる自然は、とてもクリエイティブな空間です」とこやかに話しました。

決心したといいます。訪れる人は、アウトドアサウナを楽しみ、川を利用した天然の水風呂を堪能し秋畑の空気をまとい整う。夜はたき火するなど、それぞれ思いの時間を過ごします。都会から1時間という近距離にある【秋畑の自然】に人々は驚きとともに満足し、リピート客もすでに多くいます。木工作家としても活動する齊藤さんは、自然を楽しむことが環境問題を考えることにも直結すると話します。

町では定期的に町職員や専門業者による公園遊具の安全点検を行っています。危険箇所や不具合などお気付きの点がありましたら、都市計画係までご連絡ください。



遊具の対象年齢は6～12歳です。

甘楽総合公園内に令和3年度から3年計画で設置を進めてきた複合遊具が9月に完成しました。四季折々の花の世界をかんらちゃんと一緒に楽しめ、子どもたちの冒険心をくすぐる遊具になっています。ぜひお子さんとお出かけください。

■建設課都市計画係 ☎(64)8322

甘楽総合公園に
魅力的な遊具が完成